



野口昌作 議員

# 汗入農免交差点の安全対策を

## 県道交差点を除き汗入農免は優先道路

町長

**問**

①汗入農免農道は着工から20年以上経過し、中山地区から名和地区につながったが、安全面で見直すべき交差点がある。農道はいつから、町の管理になっているか。

②事故が起きないように、交差点規制などを検討したか。また、現在も検討を重ねているか。

③いつ頃を目安に利用



整備された一時停止の交差点

者の安全を考えた交通安全対策を行うか。

④関係区長と協議ができていたのであれば、町道住吉萩原線の、報国の南交差点で対策を早急にするべきでは。

**答** 森田町長

①県道下市高橋停車場線の東側は平成19年度に、西側は平成21年度に管理協定を締結している。

②従来から交通安全指導員や集落との協議しながら、対策を行ってきた。

③平成22年度に汗入・大名・佐摩農道がつながる。完成後の23年度からは、県道交差点を除き、農免農道を優先する。

④できるだけ早くしたいと思うが、警察、公安委員会と協議をしなければならぬ。

# 口蹄疫の初動対応は？

町長 県と町で役割を分担

**問**

宮崎県で家畜伝染病の口蹄疫が発生し、非常事態となっている。本県では、6月11日に初動対応を確認したと報道された。

①初動対応の話合いをしているか。また、どのような内容か。

②実際に口蹄疫が発生した時の問題点は。

③これまで町が行った対策は。また、今後の対策として考えていることは。

**答** 森田町長

①5月27日に西部家畜保健衛生所と、町の対応を確認した。また、6月11日に県のマニュアルが提示された。

本町では、平成20年に作成した「大山町の高病原性鳥インフルエンザ初動対応マニュアル」を参考に、マニュアルの作成を進める。

なお、5月25日に大山町家畜伝染病対策協議会を開催している。

②実際に口蹄疫が発生した場合、家畜の死体等をうめる場所の確保が問題。基本的には、畜産農家の土地でうめることになる。

③防災無線や大山町チャンネルで周知し、町単独で消石灰の配付を行った。

早急に初動対応マニュアルを作成して、不測の事態に備えたい。



口蹄疫の初動対応は万全か